

令和 7 年度

大坂下公園プール・野庭中央公園プール 事業報告書

指定管理者:東急スポーツシステム株式会社

事業報告書様式

1 様式1

(施設概要、指定管理者概要)

2 様式2

(管理運営体制(事業計画書様式2)の報告、利用促進・市民協働等(事業計画書様式3)の報告、維持管理
(事業計画書様式4)の報告)

3 様式3

(有料施設利用回数・人数・稼働率(月別)・利用料金収入実績、令和7年度公園利用状況)

4 様式4

(令和7年度修繕実績)

5 様式5

(令和7年度増減備品一覧)

6 様式6

(苦情要望対応報告、事件・事故・災害対応報告)

7 様式7

(利用者アンケート結果)

8 様式8

(研修実施報告)

9 様式9

(無料事業実施報告一覧(自主事業含む)、有料事業実施報告一覧(自主事業含む))

10 様式10

(業務の第三者委託実績)

11 様式11

(収支報告書(指定管理事業のみ))

12 様式12

(運営目標・実績報告)

(事業報告書様式1)

1 施設概要

公園名	野庭中央公園(プール及び子供用プールに限る。)
所在地	港南区野庭町 613 番地
公園面積、公園種別	指定管理区域面積:2,213 ㎡
主な施設	(1) 25mプール:長さ 25m、幅 15m、深さ 1.0~1.2m (2) 子供用プール:変形C形(面積:147 ㎡)、深さ 0.45~0.55m (3) 管理棟:更衣室、トイレ、管理室 ロッカー:男性 198、女性 126、子供用プール 108
特徴	港南区の中央部に位置する野庭中央公園(近隣公園)内に、昭和 53 年に設置されたプール及び子供用プールです。指定管理区域はプールとその関係施設のみであり、その他の園地は指定管理区域外となり、港南土木事務所の所管となる。
公園開園日	昭和 53 年

公園名	大坂下公園(プール及び子供用プールに限る。)
所在地	戸塚区戸塚町 2,974 番地の1
公園面積、公園種別	指定管理区域面積:1,354 ㎡
主な施設	(1) 25mプール:長さ 25m、幅 8m、深さ 1.0~1.2m (2) 子供用プール:台形(面積: 50 ㎡)、深さ 0.4~0.6m (3) 管理棟:更衣室、トイレ、管理室 ロッカー:男性 216、女性 144、子供用プール 54
特徴	戸塚区の南部に位置する大坂下公園(街区公園)内に、昭和 49 年に設置されたプール及び子供用プールです。指定管理区域はプールとその関係施設のみであり、その他の園地は指定管理区域外となり、戸塚土木事務所の所管となる。
公園開園日	昭和 49 年

2 指定管理者概要

指定管理者名	東急スポーツシステム株式会社
代表者名	代表取締役 佐藤 悠歩
所在地	東京都渋谷区南平台町 5 番 6 号
指定管理期間	令和 7 年 4 月 1 日~令和 12 年 3 月 31 日
現指定管理者管理運営開始日	令和 7 年 4 月 1 日

1 管理運営体制(事業計画書様式2)の報告

1. 管理運営方針

地域に笑顔を増やす公園プールとして、安心・安全で、環境にやさしく、魅力ある施設づくりに取り組みました。

① 安心・安全を最優先に

子どもから大人まで、誰もが安心して利用できるプール環境の整備に努めました。

② 災害に強く、環境に配慮した運営

災害対策や環境負荷の軽減に取り組み、市民の意識向上にもつなげました。

③ 施設の魅力を最大限に活かす運営

公園の特性を生かし、にぎわいと活性化につながる質の高いサービス提供と効率的な運営を進めました。

2. 適正な人員配置の実施

令和7年度のプール運営にあたり、以下のとおり適正な人員配置を行い、安全かつ円滑な運営を実施しました。

◇職員の配置

正規職員	統括施設長・野庭中央公園プール施設長	1名
	大坂下公園プール施設長	1名
	野庭中央公園プール・大坂下公園プール副施設長	1名
臨時職員	監視員および受付職員	42名

◎正規職員3名の配置により、両施設の運営管理、職員指導、安全管理体制の構築を適切に実施しました。

◎臨時職員により、監視業務、受付業務、日常清掃等を適正に実施し、利用者の安全確保と快適な施設環境の維持に努めました。

◇勤務時間

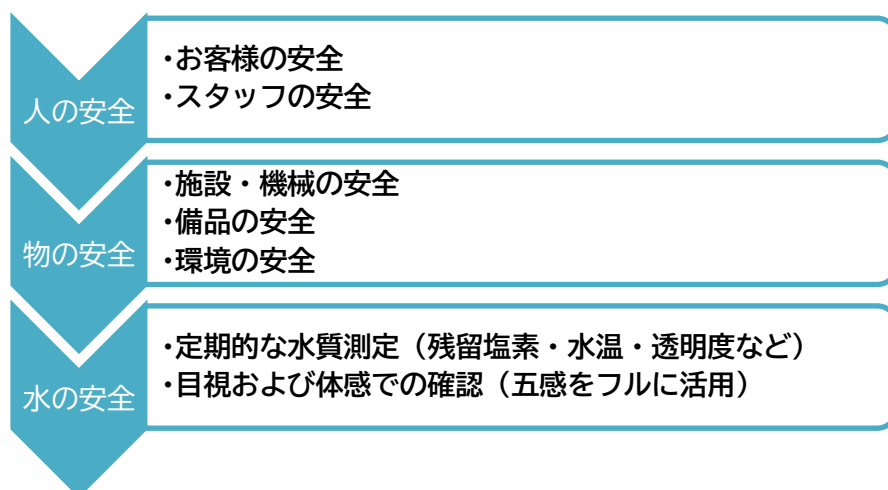
勤務時間帯	正規職員	監視員	受付
8:30～13:00	1	4	1
13:00～18:30	1	4	1

◎利用者が安心して過ごせる環境づくりを支える基盤として、勤務体制の確立に努めました。

2. 監視体制の構築

(1) プールの安全管理

業務にあたっては、常にプールの安全3項目を念頭に置き、事故防止と安全確保に取り組みました。特に、施設内の危険予測、利用者への適切な指導、緊急対応体制の維持に重点を置き、安定した安全管理を実践しました。



(2) 監視体制について

利用者の安全確保を最優先とし、以下の監視体制を整備し、事故防止と職員の健康管理の両立を図りました。

①	死角のない監視ポジションを設定し、確実な監視体制を構築 (基本監視配置: 25m プール2名、子ども用プール1名)
②	15 分毎のルーティンによる監視ポジション交代を実施し、集中力を維持
③	監視員に対し、1時間ごとに室内作業を取り入れ、熱中症予防対策を徹底

(3) 本部機能による運営サポート

本部が、運営全般に関わる以下の支援を行い、現場運営の安定化とサービス品質の向上に寄与しました。

①	人員配置・労務管理のサポート
②	安全管理体制の整備支援
③	研修計画の策定および実施支援
④	事故・トラブル発生時の対応サポート
⑤	行政との連絡調整
⑥	運営改善に向けた助言および指導

(4) 研修の実施

事業報告書様式8に詳細を記載

2 利用促進・市民協働等(事業計画書様式3)の報告

1. 利用者サービスの向上・利用促進策の実施方針

多様なニーズに応えるサービス向上と利用促進に取り組み、レンタル品の充実や赤ちゃんプール設置、販売品や券種の拡充を進めました。利用者の声を積極的に収集し、魅力向上と“また来たい”と思える公園プールづくりを推進しました。

2. 効果的な広報の推進

利用者への情報提供を強化し、施設の認知度向上を図るため、以下の広報活動を実施しました。

媒体	取り組み
ホームページ	わかりやすさを重視したホームページの作成 利用案内、イベント情報、安全対策等を整理し、必要な情報にアクセスしやすい構成とした。
Instagram	写真・動画を活用した発信により、若年層を中心に情報到達性を向上。
プールだより	イベント情報をまとめ、施設内掲示や地域配布を実施。

3. 市民協働の取り組み

地域との連携を深め、市民参加型の運営を推進するため、以下の取り組みを実施しました。

- ◎地域消防署との連携による「水のレスキューイベント」実施 水難事故防止の啓発と救助体験を通じ、地域の安全意識向上に寄与。
- ◎近隣保育園の利用促進(大坂下公園プール) 園児の水慣れや体力づくりの機会を提供し、地域との連携を強化。
- ◎地域住民の雇用促進 各施設で地域住民を積極的に雇用し、地域コミュニティの活性化と地域に根ざした運営体制を構築。

4. 利用者促進施策の実施

利用者の利便性向上と快適な利用環境の提供を目的として、以下の施策を実施しました。

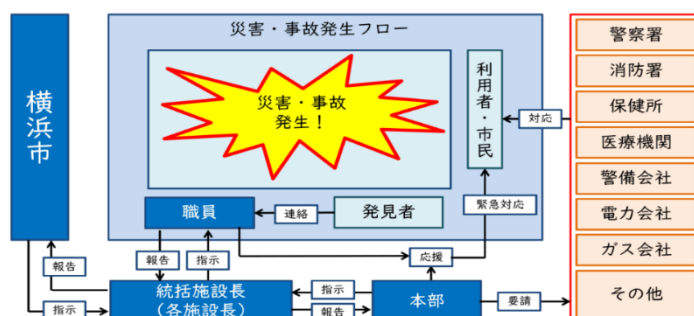
- ◎ビーチボール・浮き輪・空気入れ等のレンタル実施 手ぶらで来場しても楽しめる環境を整備し、利用満足度を向上。
- ◎赤ちゃんプールの設置によるファミリー層の受け入れ強化 小さな子ども連れでも安心して利用できる環境を整備し、家族利用を促進。
- ◎セット券・回数券・スタンプカードの導入 利用しやすさとリピート利用の促進を目的に、複数の料金メニューを提供。
- ◎自動販売機の設置による熱中症予防対策 水分補給を容易にし、安全な利用環境の確保に寄与。

5. 災害時の対応

横浜市や各区の防災計画に基づき、災害・事故リスクを予見し対策を徹底しました。万一の際はマニュアルに沿って被害最小化に努め、横浜市災害情報メールを活用しながら、利用者の安心・安全を最優先に取り組みました。

◇災害発生時の対応

安全を第一に状況把握、初期対応、復旧対応、事後対応、所管課への報告など適切な対応を行いました。



◇安全・防犯対策

① 巡回・点検による危険箇所の把握と共有

公園内外の巡回、日常点検、特別巡視を行い、危険箇所を確認し全スタッフで情報共有。

② 防災・防犯に向けた予知・備えの強化

災害・事故の危険予知活動を行い、安全対策マニュアルを整備。AED・救急セットも誰でも使える位置に配置。

③ 利用者への声掛けと意識啓発

挨拶や声掛けによる抑止効果を高め、防犯ポスター掲示で意識向上を図る。

6. 本市の重要施策を踏まえた取組・環境への配慮

水資源の節約に向けた適切な水質管理、長時間労働の抑制や健康経営の推進、災害時のBCP策定に取り組みました。また、横浜市民の積極的な雇用や市内業者への発注を行い、地域に貢献する運営を進めました。

3 維持管理(事業計画書様式4)の報告

1. 予防保全に基づく維持管理の方針

当施設では、予防保全の考え方にに基づき、設備機能が一定水準以下になる前に点検・保守を実施しています。不具合や故障を早期に発見し対処することで、長期的な補修・修繕費用の軽減と、安全で安定した施設運営を図っています。

2. 維持管理年間計画

施設の維持管理については、計画に基づき必要な点検・補修を着実に進め、安心して利用できる環境を維持し、日常の巡視や設備確認を重ね、早期発見・早期対応を徹底し、施設の品質向上と安全性の確保に努めてきました。

業務名	内容	実施頻度等
照明装置	巡視	営業期間中、毎日
ろ過装置	巡視および定期	営業期間中、毎日/年1回のエレメント分解洗浄
滅菌装置	巡視	営業期間中、毎日
水質検査	定期検査	年 2 回
ろ過・滅菌装置・ポンプ	定期点検	年 1 回
修繕	小破修繕	点検時・随時
廃棄物処理	定期	営業期間中

3. 樹木・植栽等の管理

毎月の定期巡回に、季節ごとに変化する植栽の状態の確認に合わせて除草や落ち葉清掃を行い、園内の維持管理に努めました。

4. 点検の実施

(1) 日常点検

危険箇所や不法行為の予兆を確認し、チェックシートを用いて確実に点検を実施

(2) 定期巡視点検

横浜市マニュアルおよび独自点検表に基づき、施設全体の安全性を計画的に確認

(3) 特別巡視点検

警報発令時や事故情報発生時に臨時点検を実施し、異常時は応急処置と迅速な報告を実施

5. 清掃の実施状況

(1) 営業前清掃(年1回)

プール開場前に、プール水抜き清掃および施設全体清掃を実施

(2) 日常清掃

利用者が快適に利用できるよう、更衣室等、2時間に1回を目安に適宜清掃を実施

(事業報告書様式3)

1 有料施設利用回数・人数・稼働率(月別)・利用料金収入実績

◇野庭中央公園プール

月	有料施設 利用回数	利用者数	稼働率(営業日数)		利用料金収入
			日	%	
7月	20日	3,489人	20日	100.0%	726,960円
8月	31日	3,831人	31日	100.0%	611,870円
9月	7日	463人	6日	85.7%	61,400円
合計	58日	7,783人	57日	95.2%	1,400,230円

◇大坂下公園プール

月	有料施設 利用回数	利用者数	稼働率(営業日数)		利用料金収入
			日	%	
7月	20日	4,293人	20日	100.0%	837,780円
8月	31日	4,781人	31日	100.0%	771,340円
9月	7日	706人	6日	85.7%	108,460円
合計	58日	9,780人	57日	95.2%	1,717,580円

◇2施設合計

項目	合計値
利用者数(7～9月)	17,563人
利用料金収入(7～9月)	3,117,810円

(事業報告書様式4)

令和7年度修繕実績

修繕年月日	修繕箇所	金額(単位:円)	委託業者名
R7年7月5日	(大坂下) プール循環浄化装置修繕	52,800円	株式会社 ユニ機工
R7年7月10日	(野庭中央) ろ布破損による交換	517,000円	株式会社 ユニ機工
R7年9月3日	(野庭中央) 券売機のロール紙部不具合	125,400円	グローリー株式会社
合計		695,200円	

(事業報告書様式5)

令和7年度増減備品一覧

品名	形状・その他	単価(円)	購入		廃棄		増減理由
			数量	年月日	数量	年月日	

※今年度、備品の増減はありませんでした。

(事業報告書様式6)

苦情要望対応報告

	年月日	内容	対応結果
1	R7年8月31日	(野庭中央) プールサイドに日よけを増やしてもらえるとありがたいです。	次年度以降に検討

事件・事故・災害対応報告

	年月日	内容及び被害	対応結果
1	R7年7月6日	出勤時に、25m プールが減水と幼児用プールの水がなくなっていることを確認。状況を確認したところ、幼児用プールの排水口が開いたままとなっており、幼児用プールの水はすべて排水され、また、連通管で繋がっている25m プールの水も幼児用プールと同じレベル分の水が排水されてしまった。	排水口を完全に閉じ、ろ過機も復旧させ、給水を完了し、問題なく、営業を迎える。今後の再発防止策として、排水口を閉じる際は、完全に閉じたか二者確認の実施と操作マニュアルへの記載を行う。

(事業報告書様式7)

利用者アンケート結果

◎参加者の方の性別を教えてください。

男性	7	女性	5	その他	
----	---	----	---	-----	--

◎参加者の方の年齢を教えてください。

～10歳	3	11～15歳	2	16～19歳		20代		30代	2	40代	4
50代		60代		70代以上	3						

◎参加者の方のお住いを教えてください。

港南区	10	戸塚区		その他	1						
-----	----	-----	--	-----	---	--	--	--	--	--	--

◎どちらのプールを利用しましたか。

25m	9	幼児		両方	2	その他	
-----	---	----	--	----	---	-----	--

◎プールを利用した目的を教えてください。

健康増進	4	泳ぎの練習	1	水遊び	8	日光浴		イベント参加		その他	
------	---	-------	---	-----	---	-----	--	--------	--	-----	--

◎プールをどのくらいのペースで利用していますか。

ほぼ毎日	1	週1～2回	5	週3～4回	1	初めて	1	月1～2回	3
------	---	-------	---	-------	---	-----	---	-------	---

◎当プールを何で知りましたか。

ホームページ		Googleマップ		Instagram		口コミ		家族・友人の紹介	5
施設を見て	4	広報よこはま		その他	1	未記入	1		
その他の意見	・幼少期に野庭団地に住んでいて、子供の頃から来ていた。今は親になり、子供を連れて利用								

◎当プールへの交通手段を教えてください。

徒歩	6	自転車	3	バイク		自家用車	2	電車		バス	
電車+バス	1	その他	1								

◎当プールの清潔さはいかがでしたか。

満足	3	やや満足	7	やや不満	1	不満		どちらでもない	
----	---	------	---	------	---	----	--	---------	--

◎当プールは利用しやすかったですか。

満足	8	やや満足	3	やや不満		不満		どちらでもない	
----	---	------	---	------	--	----	--	---------	--

◎当プールを安全に利用できましたか。

満足	8	やや満足	3	やや不満		不満		どちらでもない	
----	---	------	---	------	--	----	--	---------	--

◎当プール内外の案内はいかがでしたか。

満足	6	やや満足	4	やや不満		不満		どちらでもない	1
----	---	------	---	------	--	----	--	---------	---

◎当プールの職員の対応はいかがでしたか。

満足	11	やや満足		やや不満		不満		どちらでもない	
----	----	------	--	------	--	----	--	---------	--

◎総合的な満足度を教えてください。

満足	9	やや満足	2	やや不満		不満		どちらでもない	
----	---	------	---	------	--	----	--	---------	--

◎その他、感想等がございましたらご記入ください。

・女子更衣室の床が、お小水のおいがして気になった。幼児も利用しているので仕方ないところもありますがもう少し清潔さがあると良いと思う。
 ・場内通路が熱い
 ・1時間で十分に楽しめました。子供と一緒にいってくれる間はたくさん行きたいです。
 ・昔から利用させてもらっています。古い施設ですが、清潔感があり、気持ちよく遊べました。プールサイドに日よけを増やしてもらえるとありがたいです。

(事業報告書様式8)

研修実施報告

	実施日	研修名	参加人数	内容及び効果
1	R7年7月5日	監視業務研修	45 名	安全管理、ポジション、水質検査、水底安全確認方法/安全に対する意識を以って業務にあたることができていた。
2	R7年7月5日	救助・避難訓練	45 名	泳力向上訓練、溺者救助訓練、各種避難訓練/緊急時に備えることができていた。
3	R7年7月5日	救命救急研修 (AED 含む)	45 名	心肺蘇生法(CPR/AED)の技能を習得、応急対応の習得/緊急時に備えることができていた。
4	R7年7月5日	個人情報保護研修 関係法令遵守研修	45 名	関係法令や個人情報保護に関する知識の習得/情報の取り扱い等、法令を遵守する気持ちで業務に取り組むことができていた。
5	R7年7月5日	指定管理者研修	45 名	指定管理者としての心構え、設置目的等の理解/指定管理者とは何か学ぶことができた。
6	R7年7月5日	ホスピタリティ研修 人権啓発研修	45 名	おもてなしの精神と丁寧な対応と、人権についての基礎知識を習得/利用者満足度の高い接客ができるように心がけることができていた。
7	R7年7月5日	施設管理研修	45 名	施設管理における各種点検の適切な知識の習得/点検時に不備などを気づけるようになっていた。
8	R7年7月5日	金銭取扱研修	45 名	事故なく売上金を取り扱う方法および管理方法を習得/点検などを行い、事故がない状況を担保できていた。

(事業報告書様式9)

無料事業実施報告一覧(自主事業含む)

事業名	事業内容・実施結果	参加人数	実施日
レンタル品貸出	スイミングキャップや空気入れの他、浮き輪やビーチボールの遊具を貸出します。(一部有料)	—	開場中
赤ちゃんプールの設置	子ども用プールのほか、おむつの取れていない乳幼児も利用できるビニールプールを設置します。	—	開場中
スタンプカード	来場毎にポイントを貯めると1時間分の利用無料券となるスタンプカードを発行します。	—	開場中
セット券の販売	25mプールと子ども用プールを同時に利用できるお得なセット券を販売します。(130 円/時間)	—	開場中
回数券の販売	5回分の料金で6回分のチケットが購入できるお得な回数券を販売します。	—	開場中
アフター16 チケットの販売	16時以降に 25mプールを利用できるお得なチケットを販売します。(50 円/時間)	—	開場中
プールレスキュー見学会	地域消防署の職員を招き、CPR(心肺蘇生法)の実習を実施した。参加者は胸骨圧迫の方法やAEDの操作手順について、実技を通して理解を深めることができた。	【野】10 名 【大】15 名	【野】7/24 【大】7/25
いのちを守る 着衣泳講習会	衣服を着た状態での浮き方や水中での安全な行動を体験し、万が一の水難事故に備える大切さを学ぶ機会を提供しようとしたが、集客に苦戦した。	【野】0名 【大】0名	【野】7/24 【大】7/25
ヤゴ救出大作戦	プール内に生息していたやごを救出し、ヤゴの生態について学ぶ。この活動を通して、生き物の命を守る取り組みを実践するとともに、環境について学ぶ機会を得ることができた。	【野】25 名 【大】33 名	【野】7/6 【大】6/28
夏の思い出まつり	射的や輪投げ、スーパーボールすくいを行い、今季来場者への感謝を込めた縁日を開催。子どもが夢中で遊び、昔ながらの雰囲気を楽しむ声もあり、温かくにぎわう催しとなった。	【野】150 名 【大】200 名	9/7

有料事業実施報告一覧(自主事業含む)

事業名	事業内容・実施結果	参加人数	実施日	自主事業決算額	
				自主事業費 (円)	自主事業 収入(円)
おやこで楽しむ 水泳教室	未就園児と保護者が水遊びで水に親しみ、安心して楽しめる時間となった。	【野】1組 【大】3組	【野】8/2 【大】8/3	54,500 円	8,800 円
クロール マスター 水泳教室	バタ足とクロール呼吸を練習し、泳ぎやすさと自信が高まった教室となった。	【野】2名 【大】4名	【野・大】 8/4～8/6 【野】8/21,22 【大】8/18,19	0 円	22,000 円
水とおともだち 短期レッスン	水慣れを目的とした初心者向け教室を実施したが、今回は参加者が集まらなかった。	【野】0名 【大】0名	【野・大】 8/4～8/6 【野】8/21,22 【大】8/18,19	0 円	0 円
プライベート 水泳教室	マンツーマンで個別指導を行い、苦手克服や上達を実感できる満足度の高いレッスンとなった。	【大】4名	8/8～ 【野】毎週月・木 【大】毎週火・金	0 円	8,800 円
合計				54,500 円	39,600 円

(事業報告書様式 10)

業務の第三者委託実績

業務	内容	委託会社	金額	年回数	実施月
日よけテント設置業務	日よけテント設置	株式会社 協栄ビーエム	261,800 円	1回	6/19,21
廃棄物処理業務	廃棄物処理業務	横浜環境保全 株式会社	94,600 円	不定期	開場中
濾過機保守点検	濾過機保守点検	株式会社 ユニ機工	570,593 円	3回	6/8 7/5,10 9/8
機械警備	機械警備	セコム株式会社	570,240 円	通年	通年
プール水質検査	プール水質検査	ヒロエンジニア リング株式会社	204,600 円	2回	7/25 8/20
消防設備点検	消防設備点検	松栄防災 株式会社	110,000 円	2回	9/17 3/27

(事業報告書様式 11)

収支報告書(指定管理事業のみ) : (単位:円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	差引 (C-D)	説明
収入の部						
指定管理料	18,282,700	391,600	18,674,300	18,674,310	-10	エアコン設置による補てん
利用料金収入	3,277,000		3,277,000	3,207,280	69,720	
自主事業収入	135,000		135,000	39,600	95,400	
横浜市による運営支援	0	288,000	288,000	288,000	0	横浜市による 物価高騰に伴う指定管理施設運営支援 156,000 円 横浜市による 賃金水準変動 対応に伴う指定管理施設運営支援 132,000 円
雑入						
その他雑入						
収入合計(a)	21,694,700		22,374,300	22,209,190	-165,110	

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	差引 (C-D)	説明
支出の部						
人件費	15,444,000		15,444,000	14,488,109	955,891	
給与・賃金	14,433,000		14,433,000	13,887,865	545,135	
社会保険料	443,000		443,000	413,037	29,963	
通勤手当	568,000		568,000	187,207	380,793	
福利厚生費					0	
勤労者福祉共済掛金					0	
退職給付引当金繰入額					0	
事務費	2,241,750		2,241,750	2,034,052	207,698	
旅費					0	
消耗品費	495,000		495,000	398,667	96,333	水質管理品
会議賄い費					0	
印刷製本費	163,200		163,200	8,027	155,173	
通信運搬費					0	
使用料及び賃借料				88,000	-88,000	
横浜市への支払い						
その他				88,000	-88,000	AED
備品購入費	166,000		166,000	1,305,480	-1,139,480	運営備品購入
保険料	125,000		125,000	106,690	18,310	
振込手数料					0	
リース料	770,000		770,000	0	770,000	リース未使用
手数料					0	
その他事務費	522,550		522,550	127,188	395,362	
自主事業費	111,750		111,750	49,546	62,204	
管理費	2,870,000		2,870,000	2,484,200	385,800	
光熱水費合計						
光熱水費(電気)						
光熱水費(ガス)						
光熱水費(水道)						
光熱水費(下水道)						
清掃費						
修繕費	800,000		800,000	988,000	-188,000	エアコン設置
機械警備費	600,000		600,000	475,200	124,800	
公園及び公園施設設備保全費	1,470,000		1,470,000	1,021,000	-449,000	
施設(建物)・設備保守	540,000		540,000	735,000	-195,000	ろ過設備保守
園地管理費					0	
その他保全費	930,000		930,000	286,000	644,000	産廃、各種保守

野庭中央公園プール・大坂下公園プール 令和7年度 事業報告書

公租公課				2,111,817	-2,111,817	
公租公課(事業所税)					0	
公租公課(消費税)				2,039,817	-2,039,817	
その他公租公課				72,000	-72,000	
事務経費(本部分)	1,027,200		1,027,200	1,027,200	0	
雑費					0	
支出合計(b)	21,694,700		21,694,700	22,194,924	-500,224	
差引(a-b)	0		0	14,266	-	

◇今年度の収支報告

◎収入

- ・ 利用料収入・自主事業収入がともに伸び悩み、結果として予算を約 165 千円下回り、収益確保に苦戦した。
- ・ 利用者数の変動や自主事業の実施数減少など、外部要因と内部要因が重なり、計画どおりの収入確保が難しかった。

◎支出

- ・ 予算策定時に想定していた支出科目との間に差異が生じ、科目ごとの調整が必要となった。
- ・ 備品についてはリース契約から購入へ切り替えることで、長期的なコストを抑制する効果が得られた。

◎総合評価

- ・ 収入面では課題が残ったものの、支出管理の工夫により一定の改善が見られ、全体としては次年度に向けた改善点が明確になった。

(参考)指定管理事業外の収支

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	差引 (C-D)	説明
設置管理許可収入合計(c)	240,000		240,000	222,406	17,594	自販機収入
設置管理許可支出合計(d)	55,000		55,000	48,800	6,200	
差引(c-d)	185,000		185,000	173,606	11,394	

(事業報告書様式 12)

運営目標・実績報告 ※【自己評価 ◎:特筆すべき取組がある ○:達成している △:改善を要する】

項 目	計画時の取組み内容及び具体的な数値目標	実績	自己評価	改善点等今後の取組
業務運営1 (事業計画書様式2: 運營業務の実施計画・取組)	【取組内容】 安心・安全を第一に子どもから大人まで誰もが安心・安全に利用できるプールの環境づくりに取組みます。 【数値目標・指標】 ・営業支障事故0件 ・事業計画の履行事項の達成	営業支障事故は0件で終了。自主事業のプロギングは暑さの影響等もあり、未実施となったものの、事業計画は概ね予定どおり遂行できた。	○	次年度は計画の実行可能性を高めるため進捗管理を強化し、利用者ニーズの把握や安全管理体制の見直しを通じて、より確実な事業遂行を図る。
業務運営2 (事業計画書様式2: 管理運営体制、人員の配置と研修計画)	【取組内容】 事故を起こさない職員研修を実施します。 安全管理以外にも接客接客や法令順守などの各種研修を実施します。 【数値目標・指標】 ・利用者アンケートの職員満足度85%以上	利用者アンケートは回収が進まず満足度を十分に把握できなかったが、一方で、挨拶や声かけの継続により多くの好意的反応が得られ、サービス評価が概ね良好であることを確認できた。	○	職員への監視研修・接客研修を実施したうえで、利用者アンケートの回収を徹底し、職員満足度を数値で把握できる体制づくりを目指す。
業務運営3 (事業計画書様式3: 利用者サービスの向上・利用促進策)	【取組内容】 利用者の多様なニーズに応え、細かなサービス向上に努めます。水泳教室やスイミング用品の販売など、また・また来たいと思ってもらえるような施設の付加価値を高める魅力向上策・利用促進策を講じます。 【数値目標・指標】 ・利用促進策を3施策以上実施 ・利用者サービス向上に関するアンケートを各施設100件回収	利用促進策として回数券やレンタル品、スタンプカードなど6施策を実施したが、利用者アンケートは12件と回収が不足し、十分な意見収集には至らなかった。	△	利用者アンケートの回収方法を、子どもでも答えやすい形式への工夫や周知強化によって改善し、施策効果を適切に検証できる体制を整備する。
業務運営4 (事業計画書様式3: 広報・プロモーションの取組)	【取組内容】 当施設の知名度向上・利用者増加の手段として、世代に合わせた多面的な広報活動を展開します。ユニバーサルサービスに配慮し、「ユニバーサルフォント」「ユニバーサルカラー」「ピクトグラム」「多言語表示」に留意したうえで、分かりやすく適切な情報発信を行います。 【数値目標・指標】 ・HPやSNSによる情報発信(週1回以上)	Instagramで施設イベント情報を週1回発信し、悪天候時の開場情報も適宜掲載した。ホームページは補完的に活用し、情報提供体制を強化した結果、大坂下のフォロワー数は150名を超え、発信基盤が着実に拡大している。	○	Instagramやホームページでの情報発信は一定の周知効果が見られたものの、より多くの利用者に確実に情報を届けるため、投稿頻度や内容の工夫、発信タイミングの最適化を図る。あわせて、他媒体との連携やフォロワー増加施策を検討し、情報発信力の強化につなげる。

項 目	計画時の取組み内容及び具体的な数値目標	実績	自己評価	改善点等今後の取組
業務運営5 (事業計画書様式3: 市民協働、市民主体 の活動の支援、地域 人材育成)	【取組内容】 地域住民らと連携しながら、地域全体の「健康づくり」「水難事故に関する対応力・知識向上」「地域防犯による安心・安全な街づくり」に取組みます。 【数値目標・指標】 ・健康づくりや水難事故防止のためのイベントを実施(年1回) ・施設外の清掃や防犯パトロールを実施(年1回)	消防署と連携した水難事故防止イベントを実施し、2 施設で約 25 名が参加した。開場期間中は 1 時間ごとに施設外の清掃や駐輪状況を確認し、地域との協力体制を築きながら、安全啓発と地域貢献に取り組んだ。	○	消防署と連携した水難事故防止イベントは、参加者層を広げる工夫や体験型プログラムの導入により内容を充実させ、より実践的な安全啓発につなげる。また、引き続き施設外清掃などの活動を継続し、地域貢献として発展させていく方針である。
業務運営6 (事業計画書様式3: 地域課題を踏まえた 事業提案・地域活性化への貢献)	【取組内容】 地域のニーズや市・区の施策を捉え、地域の関係諸団体と密に連携し、地域課題の解決、生涯スポーツ社会の実現を目指すための拠点となるように運営します。 【数値目標・指標】 ・区内および市内雇用率80%以上 ・市内中小企業発注80%以上(点検を除く)	臨時職員の雇用は区内・市内で 100%を達成した。また、ろ過機点検を除き、産廃処理や消防設備点検などを市内企業へ発注し、地域経済への貢献にもつなげることができた。	○	引き続き、臨時職員は市内・区内在住者から雇用し、業務発注も市内企業を活用して地域経済に寄与する。今後は多様な地域事業者との連携を広げ、業務内容に応じた最適な発注体制を構築し、地域貢献と業務効率の両立を図る方針である。
業務運営7 (事業計画書様式3: 本市の重要施策を 踏まえた取組・環境 への配慮)	【取組内容】 「子育てしたいまち 次世代を共に育むまち ヨコハマ」の基本戦略に基づき、環境整備や子育て施策を積極的に行います。本施設の運営のみにとどまらず、地域の清掃活動や福祉活動に積極的に取り組むことで、日頃から地域の方とのつながりを深め、施設単位でできる環境配慮の取組みを推進します。 【数値目標・指標】 ・子育て世代に関する取組み(年1回以上) ・環境配慮に関する取組み(年1回以上)	幼児用プールに赤ちゃん用ビニールプールを設置したことで、子育て世代の利用促進につながった。また、セット券の販売を行い、親子での幼児用プール利用をさらに促すことができた。加えて、施設周辺の清掃を日常業務に組み込み、環境美化にも継続的に取り組むことができた。	○	幼児用プールの充実により子育て世代の利用が進んだことを踏まえ、今後は親子向けイベントや周知方法の工夫により利用促進をさらに図る。また、施設周辺の清掃活動を継続し、地域と協働した環境美化にも取り組むことで、より良い利用環境の維持に努める。
業務運営8 (事業計画書様式4: 公園の魅力を高める 施設保全・管理)	【取組内容】 老朽化が進んでいる施設です。そのため、清掃や施設の点検については、迅速な対応を実施し、施設保全及び長寿命化を推進します。 【数値目標・指標】 ・利用者アンケートでの「施設の安全」のに関する項目での満足度 80%以上	定期的な清掃や設備点検を継続して実施することで、施設内外の衛生状態や安全性を常に良好に保つことができた。また、利用者が安心して過ごせる環境づくりにつながり、施設運営の信頼性向上にも寄与した。	○	今後も定期清掃や設備点検を継続するとともに、老朽化の進行状況を踏まえた計画的な改善を進めることで、施設の安全性と快適性を長期的に確保し、利用者が安心して過ごせる環境づくりをさらに強化していく。

項 目	計画時の取組み内容及び具体的な数値目標	実績	自己評価	改善点等今後の取組
業務運営9 (事業計画書様式4: 施設(建物等)、設備 の維持管理、修繕計 画)	【取組内容】 建築物の施設管理点検について は、横浜市建築局作成の施設管 理点検マニュアルをもとに点検 を実施し、その結果を南部公園 緑地事務所へ報告します。異常 が発見された場合は、ただちに 統括施設長または施設長の指示 もと、適切な処置、修繕を行いま す。 【数値目標・指標】 ・年間修繕予算範囲で適切な修 繕の実施	安全運営を前提に、 営業に支障のある不 具合は適宜修繕し、 予算 800 千円のう ち約 680 千円に対 応した。さらに、営業 開始後に修繕箇所を 精査し、次年度の営 業前に実施する修繕 計画を策定すること で、計画的な維持管 理体制を整えた。	○	営業に支障をきたす 不具合には適宜対応 してきたが、今後は 修繕箇所の早期把握 と計画的な整備をさ らに徹底し、営業開 始前の準備体制を強 化する。また、設備 の老朽化状況を踏ま えた中長期的な修繕 計画を検討し、安定 した安全運営の継続 を図る。
業務運営10 (事業計画書様式4: 樹木、植栽等の管 理)	【取組内容】 施設内の枯損植物・枯れ枝・支 障枝は適宜除去します。施設外 の高木については、倒木・折れ 枝・害虫の被害の恐れがある場 合は、適切に対応します。 【数値目標・指標】 ・倒木などによる事故発生0件 ・営業外期間での目視点検の実 施(月1回)	営業開始前に施設内 の樹木を適切に剪定 したことで、倒木等 による事故は発生せ ず、営業期間を安全 に終了することがで きた。また、営業外 期間においても巡視 を実施し、倒木等を 継続的に確認した。	○	営業前の剪定や営業 外の巡視で安全を確 保できたことを踏ま え、今後は樹木の成 長に応じた年間管理 計画を整え、早期対 応を徹底する。更に、 巡視体制や記録を見 直し、より確実な安 全管理につなげる。
業務運営11 (事業計画書様式4: 巡視・清掃)	【取組内容】 予防保全の考え方にに基づき巡視 を行い、一定水準以下になる前 に機能点検保守を行い、不具 合・故障なども早期に対処する ことで、長期的にとらええた際 の補修・修繕費用を軽減します。 日々の清掃については、気持ち よくご利用いただけるよう、汚 れやすいトイレ・更衣室を中心に 2時間に1回を目安に適宜清掃・ 感染症予防のための消毒を実施 します。 【数値目標・指標】 ・2時間に1回巡視、清掃の実施 ・営業外期間での巡視の実施(月 1回)	日常業務に清掃・点 検を組み込み定着さ せることで、2時間 に1回以上の、施設 内だけでなく施設外 の清掃にも取り組み、 環境美化と安全性の 向上を図った。また、 開場期間外の月1回 の巡視も適切に実施 し、継続的な管理体 制を維持した。	○	巡視と点検保守を継 続しつつ、設備の劣 化状況を踏まえた計 画的な保全体制を強 化する。清掃・消毒 については利用状況 に応じた頻度調整を 行い、より快適な環 境維持を図る。また、 営業外期間の巡視記 録を充実させ、異常 の早期発見につな げる。
収支 (事業計画書様式7: 収入確保、経費節減 策)	【取組内容】 サービス向上策等により施設利 用料金収入が増加するよう努 めます。経費については、管理 に必要な物品の調達、委託は、 相見積による競争契約により経 費を節減します。可能な限り市 内中小企業に発注し、中小企業 振興に貢献します。 【数値目標・指標】 ・年度収支計画を通りの収入お よび経費のコントロール	前年度に比べて利用 者数が減少したた め、利用料収入は当 初見込みを下回る結 果となった。一方で、 教室やプライベート レッスン等の自主事 業を積極的に実施 し、収入の補填を図 るとともに、地域 ニーズへの対応にも 努めた。	○	収入増加に向けた サービス向上策を継 続するとともに、経 費については必要性 の精査や調達方法の 見直しにより、より 効率的な支出管理を 進める。また、市内 中小企業への発注機 会を広げ、地域経済 への貢献と安定した 収支計画の達成を 図る。